

「想像力」

自分を相手に置き換える想像力を身に付けたいものである。

(いのちの言葉 日野原 重明 より)

色鮮やかな草花や虫が自然を彩り、新緑が眩しく、すくすくと成長している様子は子どもたちの姿と重なります。

4月初め、泣き出した友だちに気付き「どうしたの？」とそばに行き「寂しくなっちゃったの?」「大丈夫だよ。みんないるよ」と顔を覗きこみ、優しく頭を撫でていた子がいました。自分の経験をもとに友だちの心情を推し量り共感し、心配している気持ちを自分なりの言葉で伝えそっと寄り添う姿に、優しさや思いやりの心の育みを感じた心温まる出来事でした。

人は、それぞれに考え方や感じ方、ものの見方も異なり、また自分の理解を超えたものに対しては、全てを想像できるかという難しい部分もあります。しかし、相手がどのように感じ何を思うのか、例え別の考え方であってもその人がどのように感じているのかを、まず想像しようとする事で、人との関わりを豊かにしていくのだと思います。

子どもたちがブロックや粘土、ごっこ遊びや自然体験、絵本を読むなど様々な遊びを通し決められた形にとらわれることなく、目に見えないものを思い描いたり、物語の情景を思い浮かべたり登場人物の気持ちを考えたりすることで、「想像力」は発揮されます。イメージしたものをさらに広げられるようなやりとりや環境を整えながら、発想をより豊かに広げ「想像力」を培っていきたいと思います。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子

職員一同

5月聖句

子どもたちをわたしのところに来させなさい。

マルコによる福音書10章13節～16節(14節)

5月主題

「なにかな」0歳

- ・神さまに守られて安心して過ごす。
- ・好きな保育者のそばで、いろいろなものに手をのばす。
- ・戸外に出て心地よい風に吹かれたりきれいな花を見る。

「おもしろい」1・2歳

- ・さんびかに親しみ、心地よさを感じる。
- ・保育者に受け止めてもらい、少しずつ自分を表現する。
- ・新しい環境や生活リズムに慣れて、興味が広がる。

～子どもたちの姿～

晴れ渡った空に、新緑の青葉とすがすがしさを感じる季節になりました。園生活にも少しずつ慣れてきた子どもたちは、互いに名前を呼び合いながら仲睦まじい姿が見られます。散歩へ出掛けると、「これ何だろう」「綺麗だね」と駆け寄り顔を寄せながら観察をしたり、アリを見つけると「どこにいくのかな?」と様々な物に興味を示していました。また、タンポポを夢中で摘み集めたり、綿毛を吹いてふわふわ舞っていくのを嬉しそうに見つめる子もいました。花瓶が描かれた段ボールを手にすると、穴の開いた部分に花を挿しこんだりとデコレーションも楽しみました。最初は中々上手に挿し込むことが出来なかった子も、持つ場所を変えるなど考え工夫する様子も見られました。身近な自然に関心を持ち、取り入れて遊ぶ体験の中で、豊かな感性を育ててほしいと思います。



【5月の讚美歌】

このはなのように

【5月のうた】

こいのぼり おつかいありさん  
 いぬのおまわりさん

	月	火	水	木	金	土	日
5月の予定表							1
	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6	7	8
	9	10 身体測定	11	12	13	14	15
	16	17	18	19 第一回検体提出	20 避難訓練	21	22
	23	24	25 誕生日会	26	27	28	29
	30	31 クレイシュ通信					
	<small>◎暖かい日が続く、日によっては暑いと感じる日もあります。薄手の長袖や半袖、汗拭きタオルのご用意をお願いします。                  ◎大型連休中は生活リズムが崩れやすいので、いつも通り早寝早起きを心がけましょう。また、事故やトラブルが発生した際はご連絡をお願いします。                  ◎5月19日に第一回検体提出となります。後日、詳細は別紙にて配布します。</small>						